

9. カーテンウォールをより安全により早く取付できる専用機の研究

カーテンウォーカーEV

株式会社レンタルのニッケン 研 次郎

○湯島 一郎

カーテンウォール取付の現状

従来のカーテンウォールの取付作業は、図1の上部のようにクレーンで吊って取付フロアへ降ろすため3フロアの養生を撤去して取付作業を行っている。また、運搬作業でたて積みされたカーテンウォールをクレーン揚重時に平置きする作業が発生しており、生産向上に向けてカーテンウォールの平置きを無くす、施工フロアを1フロアないし2フロアにすることを目指した。

カーテンウォーカーEV 概要

カーテンウォーカーEVは本体（カーテンウォーカーE）と、本体に吊り下げられた吸盤治具（カーテンウォーカーV）からなる取付マシンである。吸盤治具によって外装材を専用パレットにたて積みされた状態から直接荷取り、そのまま取付作業を行うことができるため、材料を平置きする作業が不要となる。また、従来のようにクレーンを使用する必要がないため、作業時間の制約を少なく出来るとともに、施工フロアが減り取付作業時の外周養生ネットの撤去範囲を限定することができ、作業効率および安全性の向上をはかることが可能となった。

図1

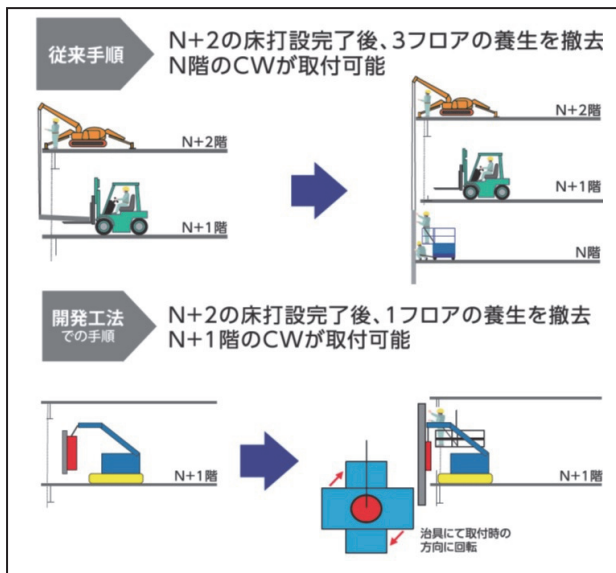
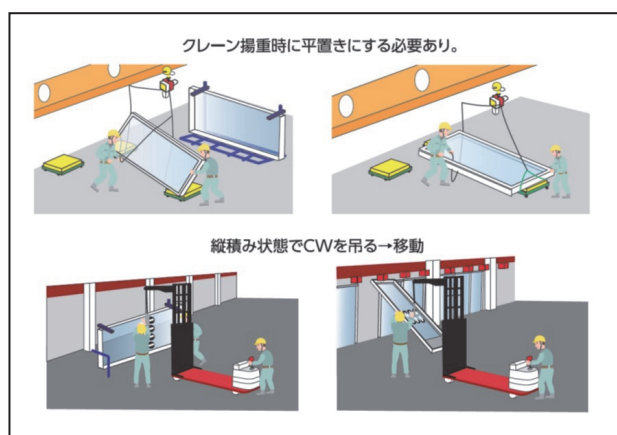


図2



今後「カーテンウォーカーEV」は様々なカーテンウォール取付作業において活用が期待されているため、機械台数の増産及び改良改善を引き続き行っていく。



